

2021年度 日本工学院専門学校											
コンサートイベント科 1年次											
イベント・メディア業界研究1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	南澤 薫			実務 経験	有	職種	ディスクジョッキー				
授業概要											
若いうちに聴くべき幅広い音楽ジャンルを歴史を紐解きながら紹介し、現代のJ-POPに繋がるプロセスを理解する。音楽への興味を深めるべく毎回既存の音楽素材を紹介し、その音源に繋がるルーツを探る。サウンドの種別を理解することにより一流の音楽家とも渡り合えることを理解させ、自発的に新しい音源を模索できるよう、音楽を聴くことの楽しさを伝えていく。現代の音楽が過去の音楽からどのようなつながりを得て構成されているかを解説することにより、楽曲に取り入れられたリズムやコード進行がどういった意図で組み込まれたものなのかを理解していく。作品研究を行うことを学習目的とする。											
到達目標											
世界のポピュラーミュージックの歴史を習得して、音楽業界に通用する人材へと育成する。およそ60年のポピュラーミュージックの歴史を大局的・俯瞰的に説明する。学生の関心が高い音源がどのように成り立ったかを解説し、音楽の深い部分を追求できるような業界のプロとなる。また様々な楽曲に触れることにより興味を持てるジャンルを増やし、学生の音楽に対する視野を広げることも目標のひとつである。視覚的にだけでなく聴覚的に音楽と向き合うことにより、より研ぎ澄まされた感覚で音楽と向き合うことができる。すべての楽曲にルーツが存在することを理解し、自発的に作品研究ができるよう、音楽に対する意識を高める。											
授業方法											
この講義では主に音源試聴を軸とし、講師の説明と現実がリンクする内容を提供する。コンサート・イベント科の学生は興味のあるアーティストに携わる仕事を望む傾向にあるため、興味や関心の幅を広げることによって就職先の視野も広げる。この講義を経て学習内容をふまえて音楽の歴史に精通する人材となる。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	20%	漸極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
主に板書と配布する資料を中心に講義を進めていくが、大人数での講義のため質問がしづらい可能性がある。そのため、講義の最後には質疑応答の時間を設け、学生の理解不足を解消するようにする。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書はなし、必要に応じてプリントを配布する。											
回数	授業計画										
第1回	1990年前後のダンスブーム（1） 1990年前後の一大ダンス・ブーム旋風における80年代後半～90年代前半のヒットソングを検証										
第2回	1990年前後のダンスブーム（2） ダンス・ブームの布石となったハウス、ニュー・ジャック・スウィングを理解する										
第3回	近代音楽史への繋がり 近代の音楽史に繋がるアイドル・ダンサブル・ポップス・ユーロビートを視聴し、理解する										
第4回	一大ダンスブーム作品の検証 1990年代終盤から1990年代前半に起こった一大・ダンスブームの作品検証										
第5回	それらの作品が齎した影響 エイベックス、小室サウンド、LDHの影響を検証										
第6回	作品検証（1） 1990年代メインストリームの中心的なジャンルだったヒップホップR&Bのヒット作品検証										

2021年度 日本工学院専門学校	
コンサートイベント科 1年次	
イベント・メディア業界研究1	
第7回	作品検証（2） 1990年代のUS/UKロックの作品検証
第8回	音楽ジャンルの理解（1） U/Sロック〜グランジ、オルタナティブ、ミクスチャー、パンク、ロウファイを理解する
第9回	作品理解（1） 世界的なメガ・ヒットが多数輩出された1990年代のポピュラー・ヒットを理解する
第10回	作品理解（2） ベテラン／ビッグ・ネームも含む第2次ブリティッシュ・インベイジョンのアーティストを知る
第11回	作品検証（3） 1980～1990年代のヒップホップのヒット作品の検証
第12回	作品検証（4） Disco40で再び脚光を浴びるダンス・クラシックスのヒットソングを検証
第13回	音楽ジャンルの理解（2） ユーロ・ビートまでを含めた1980年代中盤～1990年代後半のダンス・クラシック集
第14回	音楽ジャンルの理解（3） 1990年代前半のハウス／トランス／ユーロ・ビート／テクノ等のダンス・ミュージック
第15回	まとめ 全体のまとめ